



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成27年5月号
国民生活産業・消費者団体連合会

平成27年度 第1回 常務理事会・理事会合同会議



4月8日帝国ホテルにて、平成27年度第1回 常務理事会・理事会合同会議を開催しました。当日は57名の役員の方々にご参加いただきました。

会に先立ち、一般社団法人現代イスラム研究センター理事長 宮田律様よりご高話をいただきました。

常務理事会・理事会総会では、会員の異動についてご承認いただくとともに、生団連の活動状況および今年度の事業計画の考え方についてご報告しました。会の最後には、役員の皆様から当連合会の活動に対する様々なご意見をいただくなど、活発な意見交換がなされました。

～ 高話 ～

『現代イスラムを知る
～宗教、生活、
そして「イスラム国」～』

一般社団法人
現代イスラム研究センター
理事長 宮田 律 様



～ 会員の皆様へのお知らせ ～

平成27年度 定時総会・記念講演会・記念パーティ

- ・日時：平成27年6月10日（水）
- ・場所：ホテルニューオータニ
定時総会：15時～16時
記念講演会：16時15分～17時15分
記念パーティ：17時30分～19時



(写真：昨年度総会と記念パーティより)

第6回食品廃棄対策委員会

家庭における食品廃棄削減に向けた今後の展開について検討 ＜情報交換＞ 事業者の食品廃棄削減への取り組み紹介

3月26日に第6回食品廃棄対策委員会を開催しました。委員会では、生活者に向けた周知啓発の今後の展開について議論し、Webサイトのより一層の普及とコンテンツの充実、生活者の行動促進のためのイベントやキャンペーンの実施により、家庭からの食品廃棄削減を目指すこととしました。

会の後半では、情報交換会としてイオン様と日本生活協同組合連合会様より、食品廃棄削減の取り組みについてご紹介いただきました。

イオン様からは、取り組みの一例として、各店舗において前日の廃棄量を朝のメンバーに写真で伝え、その日の製造計画に活かす実績の見える化の取り組みについてご紹介いただきました。またグループ全体の取り組みとして、リサイクルループや地域と連携した取り組みなどについてご紹介いただきました。

日本生活協同組合連合会様からは、日本各地の生協の様々な取り組みについて、ご紹介いただきました。

例えば、みやぎ生協ではフードバンク法人を立ち上げ、地域の法人・企業にも働きかけて、県内でフードバンク活動を展開している事例や、コープみらい、東都生協では、不揃い野菜の詰め合わせ販売など、生協ならではの取り組みを紹介いただきました。

今後も委員会と合わせて情報交換会を実施し、参加者同士の相互理解を深めていきます。



イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部
金丸 治子 様



日本生活協同組合連合会
環境事業推進部
二村 睦子 様

定例勉強会（3、4月度）

3月26日、憲政記念館にて国際経済研究所との共催で定例勉強会を開催しました。講師に新党大地代表の鈴木宗男先生をお招きし、「今後の日本の政治を語る」というテーマでご講演をいただきました。



新党大地代表 鈴木宗男先生

ゲストとして国際的な放射線専門家のウエイド・アリソン博士、モハン・ドス博士も登壇され、放射線の正しい知識の普及についてご説明をいただきました。



オックスフォード大学
名誉教授 ウエイド・アリソン博士



フォクスチェイス・キャンサーセンター
准教授 モハン・ドス博士

4月13日、4月度の定例勉強会を開催しました（会場、共催同左）。今月は講師に毎日新聞社論説室専門編集委員の金子秀敏先生をお招きし、「中国を巡る国際情勢」というテーマでご講演をいただきました。

金子先生からは中国の内政と外交の動向を、「新常态」「一帯一路」といったキーワードのご説明を交えながら、大変わかりやすくご解説をいただきました。



毎日新聞社論説室専門編集委員 金子秀敏先生

生団連は清水信次会長(株)ライフコーポレーション会長の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取り組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>